追加型投信／海外／債券

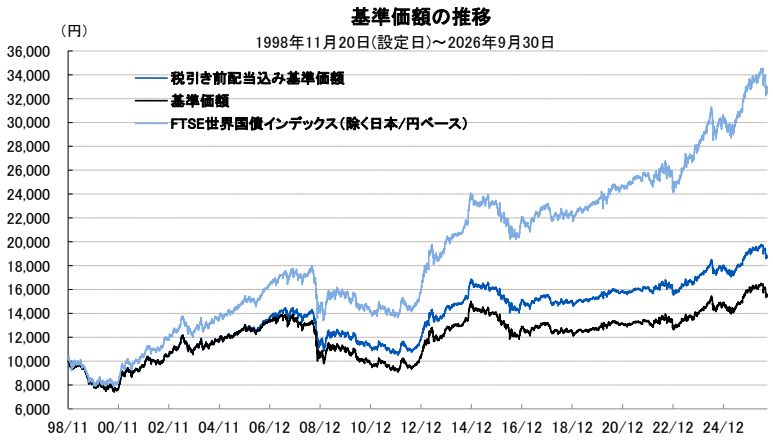
［アバディーン・ファンド・セレクション］

海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

2026年9月

基準日：2026年9月30日

◎基準価額



＊上記のデータは過去の実績であり、今後の運用成果等を保証するものではありません。
＊基準価額は信託報酬（純資産総額に対して、年率1.25%(税抜)）等の費用控除後の値です。
＊ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本/円ベース）は、設定日前日の終値を10,000として指数化しております。

設　定　日	1998/11/20
信 託 期 間	無期限
決　算　日	6月10日および12月10日(休日の場合は翌営業日)

基準価額	純資産総額
15,401 円	26.0 億円

◎分配金の推移（直近3期分および累計）

第53期決算 25年6月10日	第54期決算 25年12月10日	第55期決算 26年6月10日	税引前分配金 設定来累計
50円	50円	50円	3,260円

＊分配金は、基準価額の水準等によってはお支払いできない場合があります。

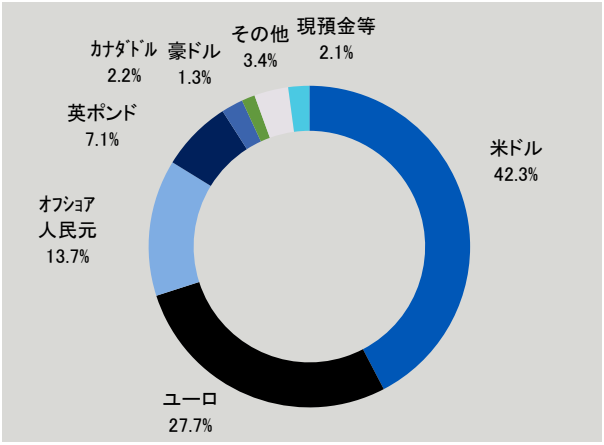
◎騰落率（信託報酬等費用控除後）

	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定月末来 (98年11月)
ファンド	-4.12%	3.22%	15.70%	82.81%
ベンチマーク	-2.64%	4.50%	20.62%	213.11%

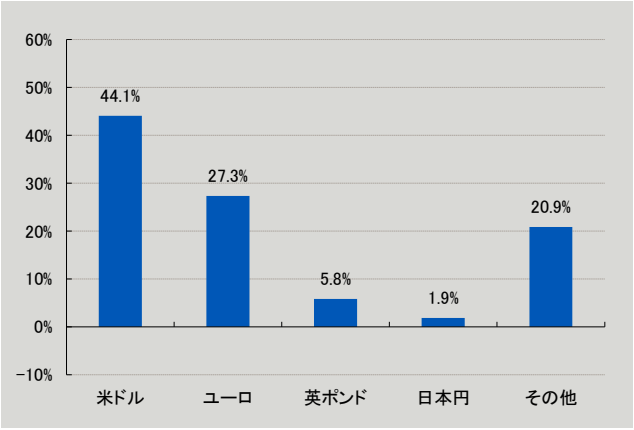
◎特性値（マザーファンド）

修正デュレーション	5.37

◎債券の通貨別投資配分（マザーファンド）

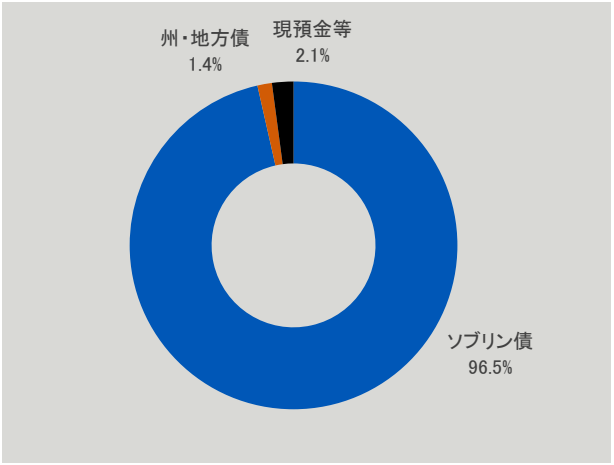


◎通貨の投資配分



＊通貨の投資配分については、ベビーファンドにおけるマザーファンドの組入比率とマザーファンドにおける通貨の投資配分から実質的な投資配分を算出しています。

◎債券の種類別投資配分（マザーファンド）



＊債券の投資配分の計算に際しては、住宅ローン担保証券(パススルー証券)の約定から受渡しまでの期間において取引金額相当分のキャッシュ運用のために購入している短期割引債等は含んでいません。
＊各投資配分の表示に際しては、小数第2位以下を四捨五入しているため、合計が100.0%とならない場合があります。

◎組入債券上位10銘柄（マザーファンド）

（総銘柄数：91）

	銘 柄	通 貨	償還日	クーポン	構成比
1	アメリカ国債	USD	2028/1/15	4.250%	10.0%
2	中国国債	CNH	2028/5/25	1.460%	7.5%
3	アメリカ国債	USD	2028/12/15	3.500%	7.0%
4	アメリカ国債	USD	2029/7/31	4.000%	5.5%
5	中国国債	CNH	2034/5/25	2.270%	4.9%
6	アメリカ国債	USD	2030/12/31	3.625%	4.3%
7	CHURCH COMM FOR EN	GBP	2035/11/25	5.125%	3.2%
8	アメリカ国債	USD	2054/2/15	4.250%	3.2%
9	アメリカ国債	USD	2031/9/30	3.625%	3.1%
10	イタリア国債	EUR	2027/8/26	2.100%	3.0%

＊対純資産総額比率

設定・運用：アバディーン・ジャパン株式会社
金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第320号
加入協会：　一般社団法人資産運用業協会
　　一般社団法人第二種金融商品取引業協会

※　当資料のリスク、手数料、留意事項等を必ずご覧ください。

追加型投信／海外／債券

［アバディーン・ファンド・セレクション］

海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

2026年9月

◎市場動向

＜金 利＞

米国：米国債券市場では、原油価格上昇を背景としたインフレ再加速懸念や財政赤字拡大に伴う国債増発観測に加え、米連邦準備制度理事会（FRB）が政策金利を0.25%引き上げたことを受けて、国債利回りが上昇しました。特に長期金利の上昇が顕著となり、米10年国債利回りは約20年ぶりの高水準となり、債券価格は下落しました。月末の米10年国債利回りは前月末比0.53%ポイント上昇の5.28%となりました。

ユーロ圏：欧州債券市場では、中東情勢の緊迫化に伴うエネルギー価格上昇を背景にインフレ懸念が高まる中、欧州中央銀行（ECB）が政策金利を0.25%引き上げました。ECBの金融引き締め姿勢の継続に加え、米国の長期金利上昇も欧州金利の上昇圧力となり、欧州国債利回りは上昇し、債券価格は下落しました。ドイツ10年国債利回りは前月末比0.26%ポイント上昇の3.59%となりました。

日本：国内債券市場では、米国および欧州での金融引き締め継続や世界的な長期金利上昇を背景に、国内金利にも上昇圧力がかかる中、日本銀行は政策金利を0.25%引き上げ、1.25%としました。また、原油価格上昇や円安を背景としたインフレ上振れリスクへの警戒感を示し、引き続き金融引き締め姿勢を維持しました。こうした金融引き締め姿勢を受けて国債利回りは上昇し、債券価格は下落しました。10年国債利回りは前月末比0.11%ポイント上昇の3.07%となりました。

＜通 貨＞

外国為替市場では、円高が進行しました。ドル円相場は、FRBが政策金利を0.25%引き上げたものの、日本銀行による追加金融引き締め観測や日米金利差の縮小期待を背景に円買いが優勢となりました。また、日本当局による為替介入への警戒感も円相場の下支え要因となりました。ユーロ円相場についても、ECBが政策金利を0.25%引き上げたものの、世界的なリスク回避姿勢の高まりや円買い需要を背景に円高基調で推移しました。月末の終値は、ドル円相場が1ドル＝157円41銭、ユーロ円相場が1ユーロ＝178円35銭となりました。

◎運用経過

FS海外高格付け債マザーファンドにおいてポートフォリオを構築し、引き続き先進主要国の国債をはじめとする投資適格債に分散投資しました。

種類別投資配分では、ベンチマークに準じてソブリン債（外国公社債）を中心に投資しています。

通貨配分は米ドルとユーロを中心とした構成となっています。為替においては実質外貨建資産に対し対円でのヘッジを行いませんでした。

◎市場見通し

＜金 利＞

米国：9月の利上げ後も、FRBがインフレ抑制を重視する姿勢を維持していることから、金融政策の動向が引き続き市場の焦点になるとみられます。また、財政赤字拡大に伴う国債増発やインフレ動向への警戒感も残っており、金利には上昇圧力がかかりやすい環境が続くと考えられます。一方で、高金利環境が景気や雇用情勢に与える影響が確認された場合には、金利上昇が一服し、債券市場を下支えする可能性もあります。今後は、物価指標や雇用統計などの経済指標に加え、FRB高官の発言を注視していく必要があると考えられます。

ユーロ圏：中東情勢を背景としたエネルギー価格上昇によるインフレ圧力が引き続き意識される中、市場の関心は追加利上げの有無やその時期に向かうと考えられます。一方で、高水準の金利が景気に及ぼす影響も徐々に顕在化しており、景気減速懸念が強まる可能性があります。欧州国債利回りは当面高水準で推移するとみられますが、景気減速懸念の高まりは利回り上昇を抑制する要因になると考えられます。今後は、ECBの金融政策および経済指標の動向を注視する必要があると考えられます。

日本：日本銀行が9月に政策金利を引き上げたことを受け、市場では追加利上げの時期やペースに注目が集まるとみられます。一方で、高水準の金利が国内景気や企業活動に与える影響も徐々に意識されることから、金利上昇圧力は限定的となる可能性があります。また、米国や欧州の金融政策や長期金利動向も国内金利に影響を及ぼすと考えられます。今後は、日本銀行の金融政策運営に加え、国内の物価・賃金動向や海外金利の推移を慎重に見極めていく必要があると考えています。

＜通 貨＞

日本銀行による追加金融引き締めへの期待を背景に円相場が下支えされる一方、米国および欧州では高金利環境が継続していることから、各国の金融政策や金利差の動向が相場を左右するとみられます。ドル円相場は日米金利差の縮小期待と米金利の高止まりが拮抗する展開、ユーロ円相場はECBの金融政策や欧州景気の動向を睨みながらの展開が続くと予想されます。引き続き、金融政策に関する発言や経済指標の動向を注視していくことが重要となると考えられます。

◎運用方針

FS海外高格付け債マザーファンド受益証券を通じて、今後も当ベビーファンドにおいて外国公社債等への高い組入比率を維持する予定です。

同マザーファンドにおいては運用基本方針に従い、為替や金利水準を見極めながら、国別配分、通貨配分を調整していく予定です。修正デュレーションについては地域間でのバランスを取りつつ、ポートフォリオ全体で、調整していく方針です。

なお、地域配分やデュレーション調整のため国債先物、為替予約等を活用してポジションを構築することもあります。

追加型投信／海外／債券

［アバディーン・ファンド・セレクション］

海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

2026年9月

■ ファンドの特色

◇ 日本を除く先進主要国の国債をはじめとする各種投資適格債に分散投資

◇ グローバルな運用体制

◇ 為替ヘッジ

実質外貨建資産に対し、原則として為替ヘッジを行いません。

◇ ベンチマーク

「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」[円ベース]　現地通貨ベースのインデックスを円換算したものです。

※「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

◇ ファミリー・ファンド方式

《収益分配金に関する留意事項》

・分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。

・分配金は、計算期間中に発生した収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。

・投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部ないし全てが、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。

・基準価額の水準等によっては分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。

■ リスクについて

当ファンドは、値動きのある資産に投資しますので、基準価額は変動します。
投資者の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。
運用により信託財産に生じた損益はすべて投資者の皆様に帰属します。
当ファンドのリスクおよび留意点は以下の通りです。ただし、下記に限定されるものではありません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

金利変動リスク	債券および債券先物の価格は金利変動の影響を大きく受けます。投資している債券市場の金利が上昇した場合、実質的に組入れている債券の価格が下落することがあります。
信用リスク	債券の発行体は債券の保有者に対し、あらかじめ決められた期日にクーポンや償還金を支払う義務を負いますが、発行体が財政難や経営不振などの理由から、この義務を履行できなくなることがあります。この場合、当該債券の価額が下落することがあります。
デリバティブ（先物取引等）取引のリスク	価格変動リスクを回避するため、デリバティブ取引を行うことがあります。デリバティブ取引には、ヘッジする商品とヘッジされる資産との相関関係や証拠金を積むことによるリスクなどが伴います。また、実際の価格変動が見通しと異なった場合、運用資産が損失を被る可能性があります。
カントリー・リスク	投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等による市場の混乱、取引に対する規制の新設等の場合には、投資額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。
為替変動リスク	外貨建資産に対し、原則として為替ヘッジを行わないため、為替変動の影響を直接受けます。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性の下での取引を行えない、または取引が不可能となる場合があります。
市場の閉鎖等に伴うリスク	証券市場・外国為替市場等の金融市場は、世界的な経済事情の急変、その国における政策の変更、政変または天災地変等の諸事情により閉鎖されることがあり、混乱することがあります。これらにより、当ファンドの運用が影響を被り、基準価額が影響を受けることがあります。

［アバディーン・ファンド・セレクション］

海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

2026年9月

■ ファンドに係る手数料等について

投資者が直接的に負担する費用	
購入時手数料	購入時に、購入申込受付日の基準価額に3.30%（税抜3.0%）以内で販売会社が独自に定める手数料をお支払いただきます。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
信託財産留保額	換金時に、換金申込受付日の翌営業日の基準価額に対し0.15%を乗じた額をご負担いただきます。
投資者が信託財産で間接的に負担する費用	
運用管理費用 （信託報酬）	純資産総額に　年率1.375%（税抜1.25%）を乗じて得た額 配分（税抜）：　委託会社　①年率　0.7%　②年率0.6% 販売会社　①年率　0.5%　②年率0.6% 受託会社　年率　0.05% 注1）信託報酬は毎計算期間終了日または信託終了のとき信託財産中から支払います。 注2）信託報酬のうち委託会社の報酬には、マザーファンドの投資顧問報酬が含まれます。 注3）信託報酬の配分については、販売会社により①と②の場合があります。
その他の費用・ 手数料	監査費用：上限年間110万円（税抜100万円） ※監査費用は、毎計算期間終了日または信託終了のとき信託財産中から支払います。 また監査費用は、将来的に変更される場合があります。
	・組入有価証券等の売買の際に発生する手数料（消費税等相当額込）、デリバティブ取引等に要する費用等 ・信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立替えた立替金の利息等 ・信託財産の一部解約に伴う支払資金の手当て等を目的として資金借入れの指図を行った場合に発生する当該借入金の利息 ※購入から換金または償還までの間にご負担いただく費用と税金の合計額は、運用状況、資産規模および保有期間等により異なるため、事前に当該費用の金額、その上限額、計算方法を記載することはできません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

■ ファンドの一般的なご留意事項について

- ○ 当資料はアバディーン・ジャパン株式会社（以下「当社」といいます。）が運用状況等の情報提供を目的として作成した資料です。
- ○ 当資料は、特定の個別銘柄等の推奨等を意図するものではありません。
- ○ 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成されておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- ○ 当資料中の当社の見解や予測等については、当資料作成時点のものであり、今後の市場環境等の変化により、予告なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の運用成果や市場環境の変動等を示唆あるいは保証するものではありません。
- ○ 投資信託は預金や保険と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- ○ 当資料で使用している指数に関する著作権等の知的財産権、その他一切の権利は指数の開発元もしくは公表元に帰属します。

※ お申込みの際は、販売会社より、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

追加型投信／海外／債券

［アバディーン・ファンド・セレクション］

海外高格付け債ファンド Bコース（為替ヘッジなし）

2026年9月

■ お申込み・投資信託説明書（交付目論見書）のご請求は、以下の販売会社にお申し出ください。

金融商品取引業者等の名称		登録番号	日本証券業協会	一般社団法人 第二種金融商品取引業協会	一般社団法人 資産運用業協会	一般社団法人 金融先物取引業協会	一般社団法人 日本STO協会
静銀ティーエム証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長（金商）第10号	○				
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○	○
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第44号	○	○	○	○	○

＊以下の販売会社では、換金の受付のみを行っております。

野村證券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第142号	○	○	○	○	○
PWM日本証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長（金商）第50号	○	○			
株式会社もみじ銀行	登録金融機関	中国財務局長（登金）第12号	○			○	

※上記金融機関以外にも取扱っている販売会社があります。